

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

白 い ま ど

2024年
8月1日発行
No.530

August

8

特集

がんに克つ!③〇

悪性リンパ腫に対する 化学療法の進歩 P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 血液内科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト がん認定・専門薬剤師 P-6



病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

がんを克つ!

30

悪性リンパ腫に対する化学療法の進歩

日本人の2人に1人が一生のうちに一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんを克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。



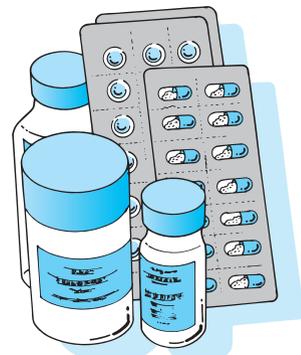
悪

性リンパ腫は、血液細胞の一つであるリンパ球という細胞が「がん化」する病気で「血液のがん」の一つです。がん化するリンパ球の種類によって悪性リンパ腫は細かく分類され、その種類によって、治りやすいもの、治りにくいもの、あるいは治療をすぐに始めるもの、経過を見るもの、に分けられます。治療はおもに化学療法(抗がん剤治療)で、血液のがんは他のがんに比べて抗がん剤

の効果が高いと言われています。場合により放射線療法(放射線の照射)を併用することもあります。手術療法は原則として行いません。

抗

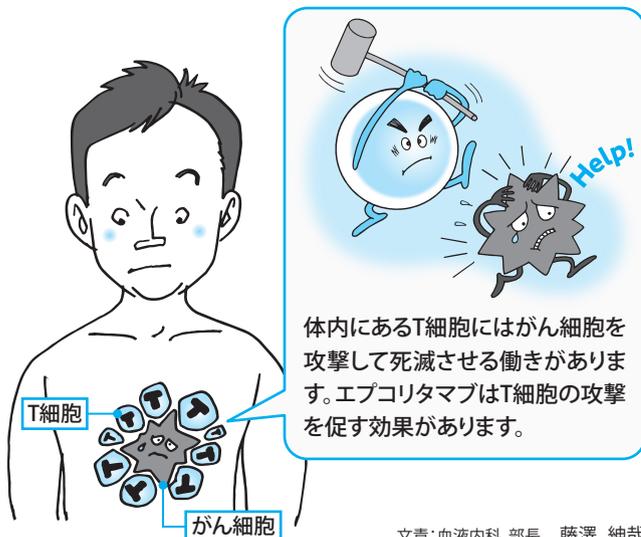
がん剤の進歩によって、治りやすい悪性リンパ腫が治癒(完全に治ること)する確率は高まっています。また、治りにくい悪性リンパ腫も病気と付き合いながら生存できる時間が延びています。基本的な薬剤はCHOP(シクロフォスファミド、ドキソルビシン、ビンクリスチン、プレドニゾン)という4種類の薬剤で、状況に応じてリツキシマブ、ポラツズマブベドチン、ブレンツキシマブベドチンという薬剤を追加する場合があります。後三者は抗がん剤の中では抗体薬と呼ばれる新しい分野に属し、リンパ腫細胞(がん細胞)を特異的に死滅させる能力の高い薬剤です。また古くからあるものの近年その効果が再認識されてきたベンダムスチンという薬剤もしばしば使用されます。



最

も新しい治療法は、免疫療法の考え方を応用した「CAR-T療法」といい、患者さんが元々持つ「がん細胞を死滅させる」という免疫力を強化するような処置(遺伝子操作)を患者さんの細胞に加え、効率よくリンパ腫細胞(がん細胞)を死滅させるというものです。この治療が行える施設は静岡県内では大学病院のみですが、この考え方に類似したエプコリタマブという薬剤が2023年に発売され、当院でも使用できる状況になっています。

悪性リンパ腫の種類や患者さんの年齢によっては実施できない治療もありますので、詳しくは主治医にお問い合わせください。



文責:血液内科 部長 藤澤 紳哉

インフォメーション

満足度調査のお知らせ

患者さんのご意見を病院運営に活かし、病院サービスの改善に取り組むことを目的に、下記の日程で調査を実施させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

外来調査	入院調査
▶実施期間 8月5日(月)～16日(金)	▶実施期間 8月1日(木)～31日(土)
▶対象者 期間中に外来受診される患者さん	▶対象者 期間中に退院される患者さん
▶実施方法 外来スタッフより調査票を配布	▶実施方法 病棟スタッフより調査票を配布

眼科 近視抑制外来のご案内

小中学生の近視は大きな社会問題になっています。そこで7月から近視治療を専門とする「近視抑制外来」を開設しました。主に点眼と矯正コンタクトでの治療を行います。当院では近視進行診断装置「マイオピアマスター」を用いて将来の屈折度数を予測しながら、それぞれの患者さんに最適な治療を行っています。



今月のことば

色:青い海

水平線の向こうには同じ病気と闘う仲間も大勢。くよくよしないで、大海原に漕ぎ出す勇気をもって頑張ろう!



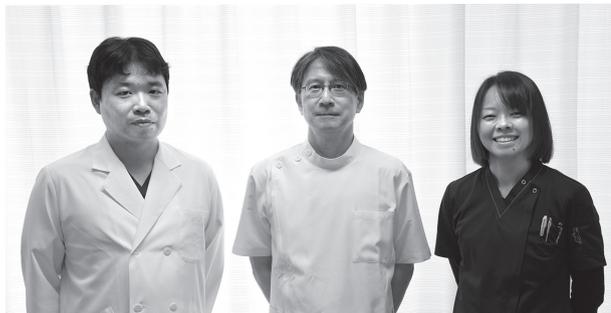
新任 医師紹介



整形外科
スガ リュウスケ
菅 竜介
東京慈恵会医科大学
(2021年卒)
※7月着任

血液内科

患者さんに寄り添い最適な医療を提供



血液内科は血液細胞に関する病気を診断、治療します。当科で扱う病気は悪性のもの（血液のがん）が多く、その治療は化学療法が大半を占めます。感染症を起こしたり、輸血が必要になったり、髪の毛が抜けたり、便秘になったり、辛いことが次々に起こってしまいます。そのようななか私たち医療スタッフは、それぞれの患者さんに寄り添いこの病気にどう対応していくのが最もハッピーかという点を常に考えながら行動します。治る見込みのある病気か、治らずに一生付き合っていく病気かなどの先（見通し）を読んだ情報を患者さんに提示し、長期的な段取りを組みながら、やるべきことを計画的に治療していきます。

文責：血液内科 部長 藤澤 紳哉 (写真中央)



がん認定・ 専門薬剤師*

※がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師などがんに関わる薬剤師資格の総称

がん治療における薬のエキスパート

がん治療の進歩により、抗がん剤の治療スケジュールや副作用対策が難しくなっている中、がん認定・専門薬剤師はより安全ながん治療を提供するための活動をしています。



医師と抗がん剤の種類や投与量を検討し、多職種で情報を共有しながら副作用を軽減するための対策を提案しています。患者さんやご家族にも抗がん剤の説明を十分に行い、治療効果や考えられる副作用などを理解していただき、不安を取り除けるよう気持ちに寄り添ったカウンセリングを行っています。また当院では、がん認定・専門薬剤師が医師の診察前に



面談を行う「薬剤師外来」を開設しており、事前に副作用や治療への想いを確認することで、安全にがん治療ができるよう努めています。

文責：薬剤部 辻村 行啓 (写真 後列左)

さらに詳しい情報などを、YouTubeの「聖隷浜松病院チャンネル」で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松 検索





聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として7,700円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室(JUNC)** ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター** ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ **産科外来(直通)** ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳/痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中央区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明

ホームページ

<https://www.seirei.or.jp/hamamatsu/>

聖隷浜松病院

検索